



# Open Ocha House Seminar

**When?** 2009年3月18日(水) 14:00~17:00  
**Where?** お茶の水女子大学 共通講義棟2号館201室  
文京区大塚2-1-1 14:00~15:20  
ユビキタス コンピューティング 実験住宅  
文京区大塚1-6-8 15:30~17:00

## Information

**web** <http://ochahouse.com/>  
**tel** 03-5978-5585(motooka studio)

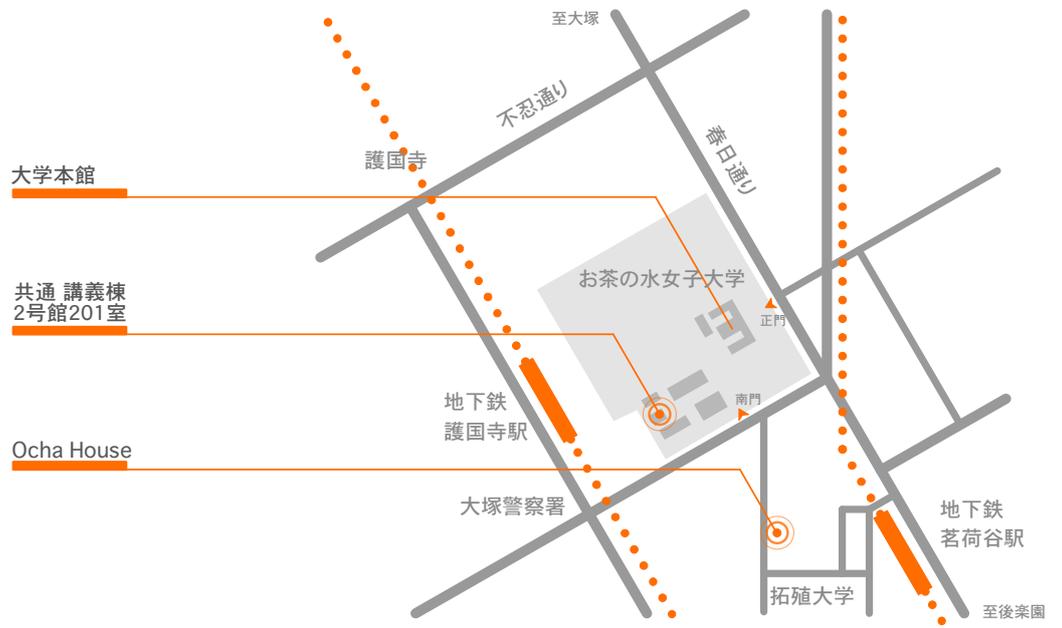
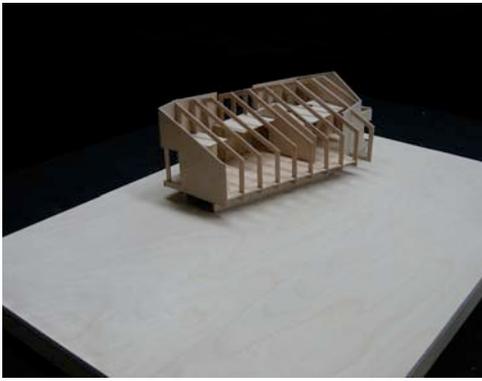
特別教育研究プログラム「女性が進出できる新しい研究分野の開拓」  
「生活者の視点を重視した ユビキタスコンピューティング住宅の研究」

## Seminar 14:00 ~ 15:20

**14:00** 郷通子お茶の水女子大学大学長挨拶  
**14:05** 来賓挨拶: 文部科学省国立大学法人支援課長  
永山賀久氏(予定)  
**14:15** 招待講演: 暦本純一東京大学大学院教授  
**14:50** 研究発表  
元岡展久『ユビキタス コンピュータと住宅設計』  
辻田眸『女性が発想する生活支援コンピュータ』

## Open House + Demonstration 15:30 ~ 17:00

お茶の水女子大学 + ヒューマンインターフェース学会SIGUBI



# OCHAHOUSE

April 2007 - March 2010

Ocha House

2007年度にお茶の水女子大学キャンパスに建設されるユビキタスコンピューティング実験住宅です。



## 人・生活・環境とつながる家 お茶大の実験住宅プロジェクト

椎尾 一郎, 太田 裕治, 元岡 展久

コンピュータが小型、安価になることで、日用品としてのコンピュータ利用が今後ますます進展すると予想されています。このようなコンピュータ利用形態をユビキタスコンピューティングと呼んでいます。

ユビキタスな日用品になったコンピュータが一般的になることで、情報科学の分野において様々な課題が浮かび上がってきます。パーソナルコンピュータの実現により、コンピュータ利用の際は、研究所、工場、企業など、コンピュータ専門家が作業する場所から、一般オフィスやSOHOなどにシフトしました。同様に、近未来において

は、ユビキタスコンピューティングの実現により、家庭でのコンピュータ利用がますます進展すると考えられます。

本プロジェクトではこのトレンドに注目し、家庭において、一般の生活者が必要とするコンピュータの実現をめざし、以下の研究課題に取り組みます。

(1) ユビキタスコンピューティングのアプリケーションの提案

(例えば、住宅/家具/日用品に組み込まれたコンピュータによる調理支援、探し物支援、コミュニケーション支援など)

(2) 情報家電や日用品に組み込まれたコンピュータ利用のための新しいインタフェース手法の提案

(3) 生活者の行動分析とこれに基づくアプリケーションの提案

(4) 家庭における高齢者支援やリハビリテーション支援。

(5) コンピュータやネットワークの進化に対応する新しい住宅の提案

(6) 自然と共生する機能をもつIT住宅。

2007年度には、お茶の水女子大学小石川職員住宅跡地に、大学が所有する施設としては日本初のIT実験住宅を建設します。

2008年以降、上記のプロジェクトの成果を実験住宅に順次組み込み、公開し、評価実験をすすめます。

2007.6.20